

小学校名：中央区立月島第三小学校 所在地：中央区晴海1-4-1

校長：鈴木 潤

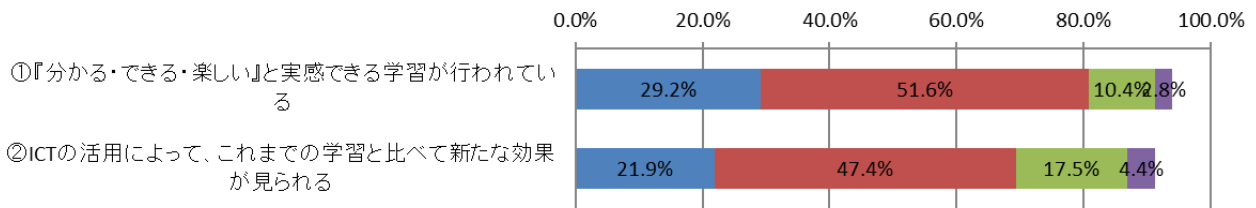
児童数：1048名 学級数：32学級 教職員数：39名 (R6.2.9現在)

**1 重点目標の達成状況及び取組状況【保護者回答数 250、教職員回答数 33】**

**【保護者】**

**重点目標1（基礎学力の定着と学力の向上を図る）**

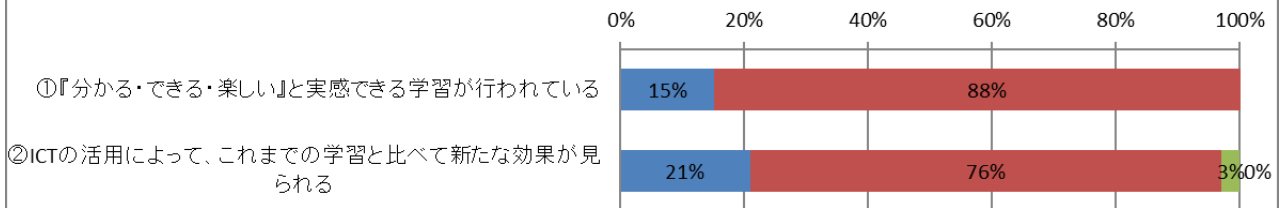
■ 十分達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



**【教職員】**

**重点目標1（基礎学力の定着と学力の向上を図る）**

■ 十分達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



**重点目標1「基礎学力の定着と学力の向上を図る」**

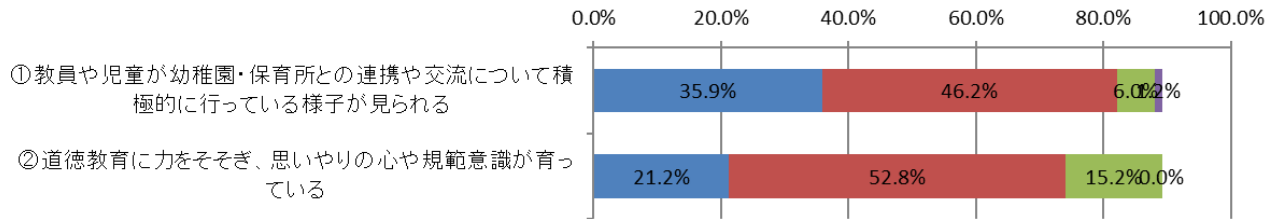
「『分かる・できる・楽しい』と実感できる学習が行われている」の項目について「十分達成している」「達成している」が保護者80%であった。昨年度に比べ、低くなっている。子どもたちが分かる・できる・楽しいと実感できる授業を行うため、その時間のめあてを明確にし、自分の考えをもつ時間をしっかり確保し、考えをより深めたり、広げたり、活かしたりする話し合い活動を行ってきた。学校公開では、参観する回数や時間も少なく、これらのような教育活動を伝える場が少なかった。その様子が保護者に伝わるように classroom を活用するなど工夫をしていきたい。

「ICTの活用によって、これまでの学習と比べて新たな効果が見られる」の項目について「十分達成している」「達成している」が保護者69%であった。昨年度より若干高くなっている。ICTを活用した学習については、日常的に定着をしている。また、タブレット端末を活用した話し合いや発表資料を作成するなど学習の広がり、深まりが見られており、学習への意欲は見られている。さらに、学習ソフトを利用して、基礎基本を身に付けていく試みも行った。タブレット機器等が学習に活用することで、子どもたちが学習の仕方を学んでいくことができるようにしていきたい。

## 【保護者】

### 重点目標2（共に生きる力を育てる）

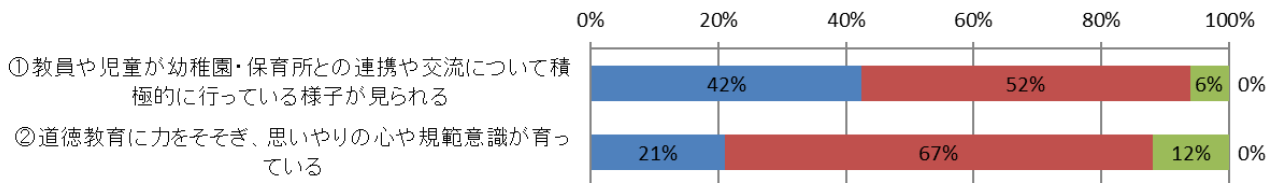
■ 十分に達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



## 【教職員】

### 重点目標2（共に生きる力を育てる）

■ 十分達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



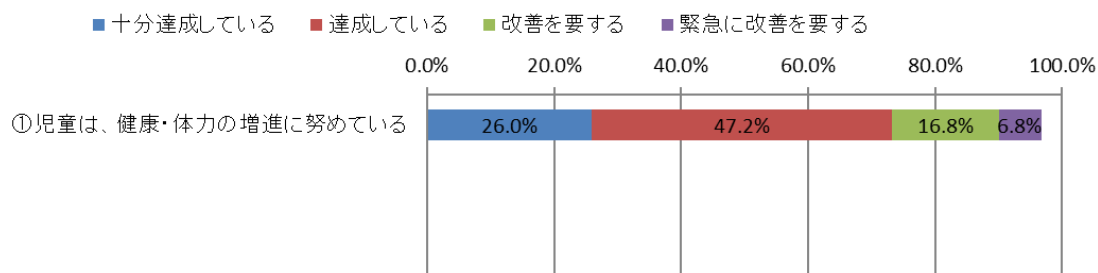
### 重点目標2の「共に生きる力を育てる」

「教員や児童が幼稚園・保育所との連携や交流について積極的に行っている様子が見られる」の項目について「十分達成している」「達成している」が保護者 82.1%、教員 94%であった。昨年度と同程度であった。児童は、1年生と5年生が幼稚園・保育所と交流をしている。また、教員は幼稚園・保育所と連携を行っており、授業参観や保育所見学、情報交換を行い、園児がスムーズに小学校生活になじむように連携を強化している。保幼小の連携により、保護者・地域に発信していくようにする。

「道徳教育に力をそそぎ、思いやりの心や規範意識が育っている」の評価が「十分達成している」「達成している」が保護者 74%であった。ルール徹底をし、さらに実践力を身に付けるために、道徳の授業と日々の生活を関連付けるとともに、教育活動全体で指導をしていかなければならない。また、道徳授業地区公開講座の弁護士によるいじめに関する講演は、参加された保護者より評価をいただいている。また、登校・下校時の交通ルールや放課後の遊び方について課題が多いため、次年度は重点的に指導をする。次年度以降も意図的・計画的に思いやりの心を育む指導や規範意識を育てる指導を行う。

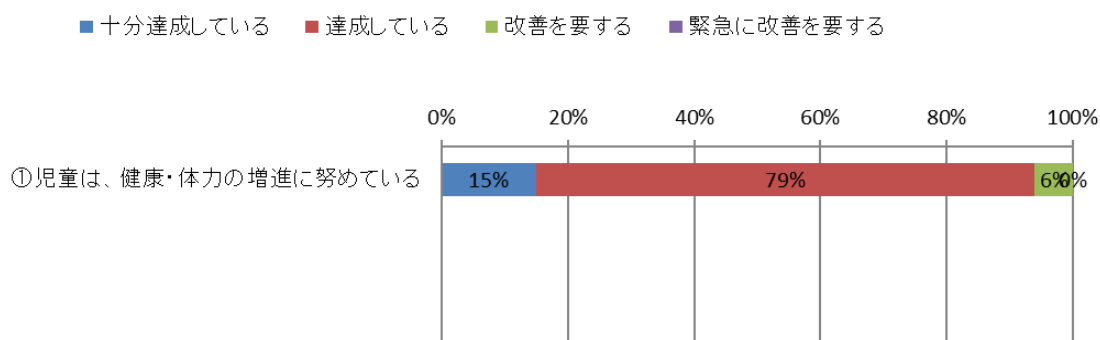
## 【保護者】

### 重点目標3（健康な体と体力の向上を図る）



## 【教職員】

### 重点目標3（健康な体と体力の向上を図る）



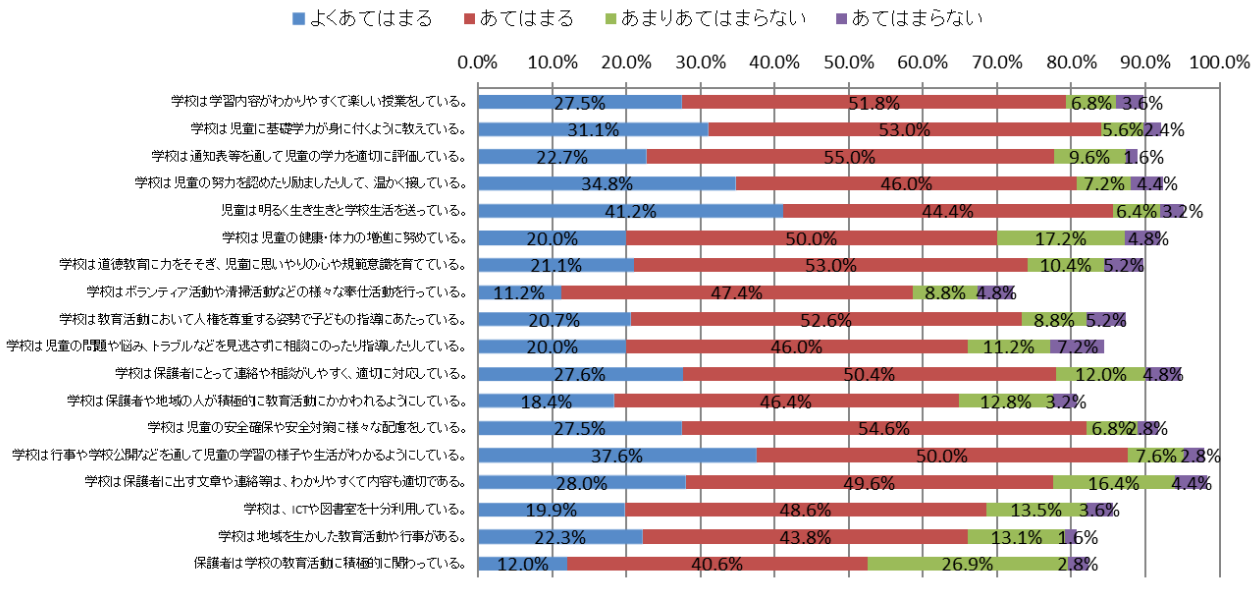
### 重点目標3「健康な体と体力の向上を図る」

「児童は、健康・体力の増進に努めている」の項目について「十分達成している」「達成している」が73%、教員94%の評価であった。児童数の増加もあり、校庭や体育館など現在の環境の中、体育や休み時間の運動量の確保が課題となっている。今年度は、なわとびギネスチャレンジ後の取組に課題を残した。次年度も、本校のマイスクールスポーツである、なわとびを重点的に取り組み、体力向上を図る上でも、年間計画に位置付けていくようにする。

## 2 全体の評価における達成状況及び取組状況

### 【保護者】

#### 令和5年度 保護者アンケート達成状況(全体評価)



全ての項目で「よくあてはまる」「あてはまる」の回答が18項目中7項目で概ね80%を越えた。本校の教育活動について、回答しづらい割合が高い項目十分な評価を得られていない面もある。

肯定的な意見が高かった「児童は明るく生き生きと学校生活を送っている」「学校は行事や学校公開を通して、児童の学習の様子や生活がわかるようにしている。」の項目では、肯定的な意見が85%を超える評価となっている。教育活動の発信方法について classroom やHPをさらに活用していく。

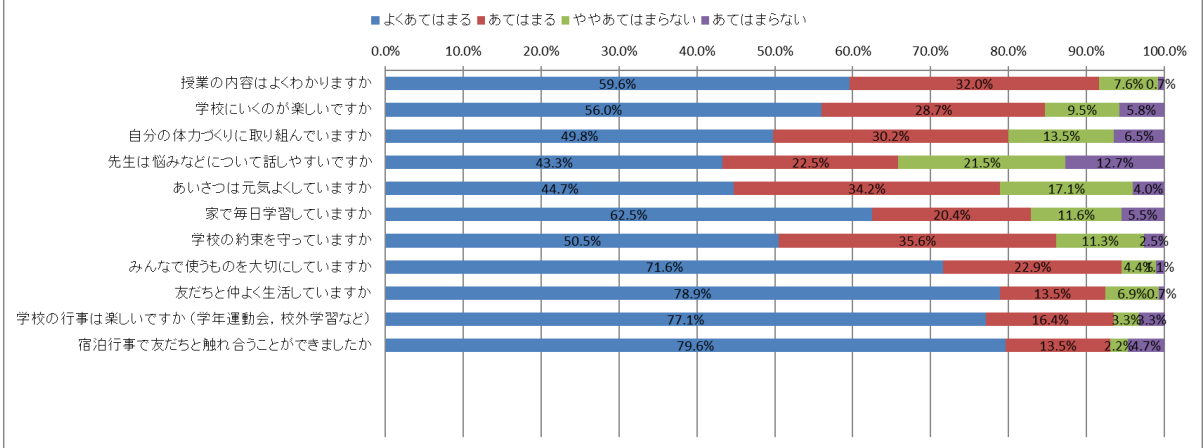
学習面に関連する項目の「学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている」「学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている。」「学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している」「学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している」については「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者が78～84%と、教員の授業内容、基礎学力の定着、適切な評価について理解を得られている。教員が基礎基本の定着を図ってきた結果と考える。

「学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している」の肯定的な回答は78%と一定の評価を得たと考えているが、「学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談ののったり指導したりしている」の肯定的な回答は66%であった。今後も学校と保護者が連携をとり、解決に至るまで、児童・保護者に寄り添っていかなければならない。また、児童の人権に配慮し、いじめの未然防止や早期発見、不登校対策、児童虐待の防止等、教員個人の力に頼った教育ではなく、関係諸機関と連携し組織的に対応できるようにする。

「学校は、ICTや図書室を十分利用している」の肯定的な回答は、前年度53%から、今年度66%程度となった。この項目については、タブレットや図書室を活用し、効果的な学習を行っているかという内容である。図書室は週1時間利用できるよう時間割に組み入れている。

ボランティア活動、地域活動等人との関わりに関する項目について、66%が肯定的であった。来年度も、交流活動を継続して検討する。

### 令和5年度 児童アンケート集計



#### 【児童】(4～6年)

「授業の内容はよくわかりますか」については81%近くが「よい」と評価している。昨年度は91%近くだったため、やや評価が下がっている。朝学習では、基礎基本の問題に取り組んだり、ICTを活用した授業で興味関心を引き付け、意欲的に取り組んだりする学習を行っている。達成感や満足感を得て、自信をつけ、今後も「わかる、できる、楽しい」授業をめざしていきたいと考える。また、「みんなで使うものを大切にしていますか」「友だちと仲よく生活していますか」「学校の行事は楽しいですか」「宿泊行事で友だちと触れ合うことができましたか」では、「よい」と評価が前年度90%から92%を超えて。今年度は行事も増えて、例年通り宿泊行事も実施することができた。学校での生活に子どもたちは期待していることが分かった。

「自分の体力づくりに取り組んでいますか」の項目では、肯定的な回答が、昨年度と同じ80%であった。ギネスチャレンジによる、なわとび指導の継続は良い。子どもたちの体力向上につながっている。

・運動量確保のため今年度は、縄跳びギネスチャレンジの取組もあり、1学期から縄跳びを継続してきた。来年度も、本校のマイスクールスポーツとして、さらに工夫して取り組んでいきたい。

「先生は悩みなどについて話しやすいか」の項目では、肯定的な回答が65%、担任だけではなく、同学年や専科、スクールカウンセラーなど、全教員で話しやすい雰囲気を作り、複数で一人一人の様子を観察することを行う。悩み等あった場合、しっかりと児童の話を聞いて問題解決を図る。子どもたちが話して良かったと思えるように信頼関係を築いていく。